

前画面へ戻る

科目名	グローバル英語B
科目名(英訳)	Global English B
科目ナンバー	HF332E09
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	塩澤 正
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HF
他学科受講	不可
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	3年次秋学期に開講される科目である。「国際英語論」の理念(多様な英語を認識し、自分の日本人としての英語も肯定的にとらえて積極的に使う)と世界の様々な英語に触れ、さらに、英語に関連する社会言語学的側面も学ぶ。英語を世界的視野に立ち包括的に捉える視座を獲得する基礎専門科目と位置付けられる。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①: ◎ ②: ○ ③: ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	調査・情報収集力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 国際的な視野 多様性

授業の主旨 (概要)	国際英語論の基本的理念と世界の諸英語の全体像を把握します。英米の英語だけでなく、コミュニケーションの手段として使用されている世界の多様な英語に焦点を当て授業を行います。最終目標は世界の多様な英語に接しながら、国際共通語としての「自分の英語」を肯定し、国際的に汎用性のある英語を習得することです。	
具体的 達成目標	この授業の終わるまでには、英語の多様性を尊重する態度が身に付き、国際英語論の理念に基づき「自分の英語」を肯定できるようになる。その理念を応用することによって自分の英語力が予想を上回る形で上がる。 ディプロマポリシーとの関係で以下のような汎用力が身につく 1) 専門的な知識・技術 2) 国際的な視野 3) 多様性を尊重する態度 4) 学び続ける能力	
	1	【内容】 春学期の復習、コースオリエンテーション 【授業外学習】 国際英語論についてのリーディングアサインメント
	2	【内容】 国際英語論再考 Unit 12. English in America 2 【授業外学習】 日本の英語学習者の多様な英語に対する態度についてのリーディングアサインメント
	3	【内容】 日本の英語学習者の多様な英語に対する態度について Unit 13. English in France 【授業外学習】 学習モデルにふさわしい英語についてのリーディングアサインメント
	4	【内容】 学習モデルにふさわしい英語とは Unit 14. English in Brazil 【授業外学習】 留学とグローバル英語の関係についてのリーディングアサインメント

授業計画	5	【内容】	留学とグローバル英語 Unit 15. English in the South																				
		【授業外学習】	言語権についてのリーディングアサインメント																				
	6	【内容】	言語権 Unit 16. English in Korea																				
		【授業外学習】	言語政策についてのリーディングアサインメント																				
	7	【内容】	言語政策 Unit 17. English in Mexico																				
		【授業外学習】	世界の英語の特徴や文化についてのリーディングアサインメント																				
	8	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(1)																				
		【授業外学習】	グループワークの準備																				
	9	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(2)																				
		【授業外学習】	グループワークの課題の継続																				
	10	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(3)																				
		【授業外学習】	グループワークの課題の継続																				
	11	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(4)																				
		【授業外学習】	グループワークの課題の継続																				
	12	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(5)																				
		【授業外学習】	グループワークの課題の継続																				
	13	【内容】	全体学習およびグループワーク: 世界の英語の特徴や文化について様々な角度から分析を行う(6)																				
		【授業外学習】	グループワークの課題の継続																				
14	【内容】	発表																					
	【授業外学習】	いままでの学習のまとめをする																					
15	【内容】	発表その2																					
	【授業外学習】	いままでの学習のまとめをする																					
授業方法	講義、教科書に基づいた学習、グループワーク、発表、ディスカッションと段階的な方法で進める。授業で学んだことを応用する課題があるが、課題はコメントをつけて、後日返却すると同時に、授業中にも随時フィードバックする。																						
成績の評価方法	試験、小テスト、発表、課題、出席、授業への貢献度を総合的に評価する。 試験、小テスト:50% 発表、課題:30% 授業での積極性:20%																						
成績の評価基準	出席は80%未満は単位がでない。期末試験、小テストは授業の理解度が高い者が評価も高い。プロジェクトはその質、ユニークさで判断する。コメントをつけて返却する。授業へ積極的に参加し発言など貢献している者も評価が高くなる。3回を超えて授業を休んだ者は理由を問わず単位をださない。																						
教科書	<table><tr><th>No</th><th>書籍名</th><th>著者名</th><th>出版社</th><th>価格</th><th>ISBN/ISSN</th></tr><tr><td>1.</td><td>『Global Activator』</td><td>塩澤正他</td><td>金星堂</td><td>1900</td><td></td></tr><tr><td colspan="6">備考:春学期に購入しなかったもののみ購入</td></tr></table>					No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	1.	『Global Activator』	塩澤正他	金星堂	1900		備考:春学期に購入しなかったもののみ購入					
No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN																		
1.	『Global Activator』	塩澤正他	金星堂	1900																			
備考:春学期に購入しなかったもののみ購入																							
参考文献																							
備考																							

 関連 ホーム ページ	
 メール アドレス	塩澤 正 shioz@fsc.chubu.ac.jp
 オフィス アワー	

[前画面へ戻る](#)